

ガーデンライト 植栽灯 (GQ - 17型)

取付説明書

保管用

お客様へ

お買い上げありがとうございます。
ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。



上手にを使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使いかたをしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下図は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



してはいけない内容です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。








実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	<p>指定以外の場所に取り付けない 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p> <p>草・木などで器具がおおわれる場所 浴室などの湿気の多い場所 水のたまる場所 器具が倒れるような傾斜のある場所</p> <p>この器具は、据置きスティック取付専用です。 電源コードや電源プラグを破損する ようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、 重いものを載せたり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災 のおそれがあります。 電源コードや電源プラグの修理は、 お買い上げの販売店にご相談ください。 コンセントや配線器具の定格を超える 使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、 発熱による火災のおそれがあります。</p>	 必ず守る	<p>交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災・感電の おそれがあります。 ランプは器具表示のものを使用する 間違った種類・ワット数のランプを使用 すると、火災・感電のおそれがあります。 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による 火災のおそれがあります。 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは 使用しないでください。 防水コンセントを使用する 使用しない場合、感電のおそれがあります。 電源プラグを抜くときは、 必ずプラグ部分を持って抜く 電源コードを引っ張るとコードが破損し、 火災・感電のおそれがあります。 器具の取り付けは説明書に従い 確実にこなう 取り付けに不備があると、火災・感電・落下に よるけがのおそれがあります。</p>
 分解禁止	<p>器具を改造したり部品交換をしない 火災・感電・落下によるけがのおそれが あります。</p>		
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグの抜き差しを しない 感電のおそれがあります。</p>	 電源プラグ を抜く	<p>異常を感じた場合は、 速やかに電源プラグを抜く 異常状態が収まったことを確認し、 販売店にご相談ください。</p>

⚠ 注意

 必ず守る	照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。		
 禁止	温度の高くなるものの近くに取り付け ガス機器やその排気筒の近くに取り付け ないでください。 火災の原因となることがあります。	 接触禁止	点灯中や消灯直後はランプや その周辺にさわらない やけどの原因となることがあります。
	調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み 合わせて使用すると、火災の原因にな ることがあります。 工事店・電器店に調光器の取り外しを 依頼してください。 (取り外しには資格が必要です)	 必ず守る	ランプ交換、お手入れの際は電源を切る 通電状態で行うと、感電の原因となることが あります。
		 電源プラグ を抜く	旅行などで長時間使用しない場合は、 安全のため電源プラグを抜く

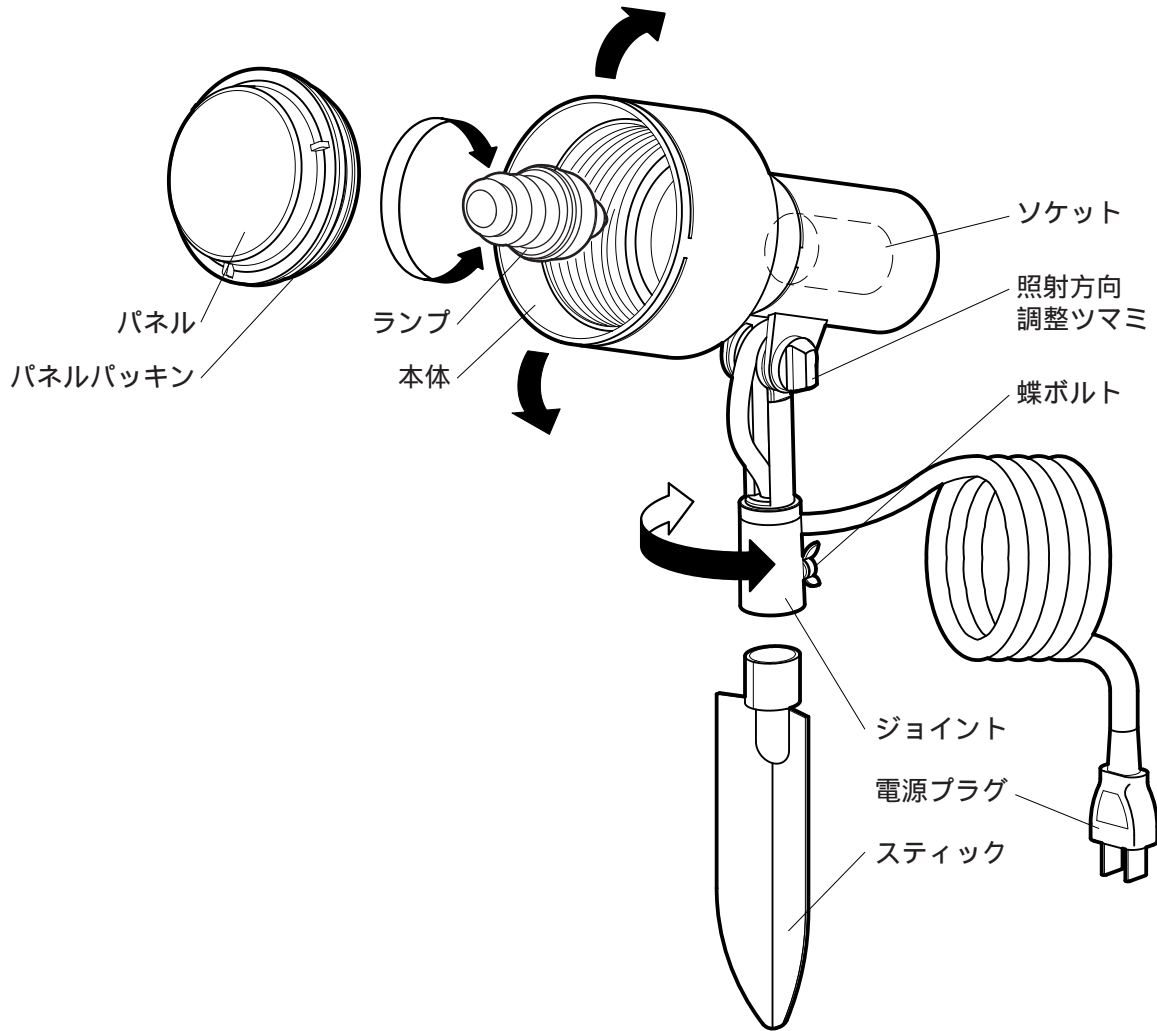
故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 理
点灯しない。	コンセントから 電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
	ランプがゆるんでいる。	ランプを確実に取り付ける。
	ランプが切れている。	新しいランプと交換する。

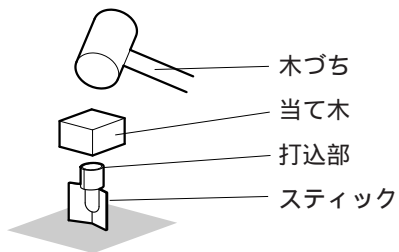
上記の点検でなお異常のある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜き、お求めの電器店にご相談ください。

各部のなまえと取り付けかた **⚠️注意** 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。



1 地面(土)に
スティックを差し込む

- ・土が固くて差し込みにくい場合は、打込部に当て木を当て、木づちなどでたたいて差し込む。



2 スティックに
ジョイント部を差し込む

- ・照射方向を決め、蝶ボルトを締め付ける。

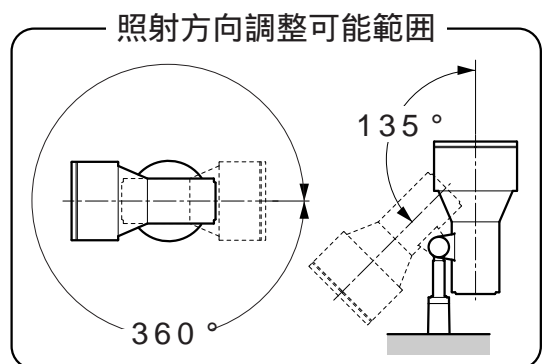
3 パネルを取り外す

4 ソケットに
ランプを取り付ける

5 パネルパッキンが取り付けられていることを確認して
本体に
パネルを取り付ける

6 照射方向を調整する

- 照射方向調整ツマミをゆるめる。
- 照射方向を調整する。
- 照射方向調整ツマミを締め付ける。



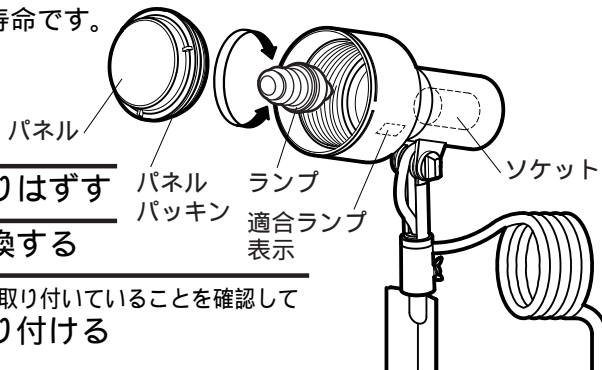
使用上のご注意

点灯直後約10分間は、明るさや光色が若干変化します。
 周辺温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。
 ランプのプラスチック部分は使用していると変色する場合がありますが、性能には影響がありません。
 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
 パナソニック製ランプをお求めください。
 ランプの種類は器具に表示しています。白熱灯は使用できません。
 種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



- 1 パネルを取りはずす
- 2 ランプを交換する
- 3 パネルパッキンが取り付けられていることを確認してパネルを取り付ける

警告 間違った種類・ワット数のランプを使用しない
 火災、感電のおそれがあります。

注意 取り付けは確実に
 浸水による感電及び落下によるけがの原因となることがあります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。

仕様


付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ	
AC100V	50/60Hz共用	17W	D25形パルックボールプレミアム蛍光灯（E26）	電球色

D25形パルックボールスパイラル蛍光灯（E26）も使用できます。

● 〈照明器具〉安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果（該当には○）					処置手順
	/	/	/	/	/	
 このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。					○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。					
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。					
	4. こげくさい臭いがする。					
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。					
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。					
	1. 購入後、10年以上経過している。					○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。					
	3. カバーなどに変色・変形がある。					
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。					
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。					

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

取説コード

Z398

200902A_1009
201001B_1009